竹取物語 ・かぐや姫の嘆き・

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段	第三段
八月十五夜近くになると、かぐや姫は人目もはばからずに〔①　　〕ようになった。翁がわけを聞くと、自分は〔②　　〕の人で、この十五夜には〔③　　〕なければならないと告白する。翁は、それを聞いて驚き、別れることなどできないと嘆き悲しんだ。	かぐや姫は、自分も長い間、慣れ親しんだ翁たちとの別れは堪えがたいと言って一緒に〔①　　〕。	翁の召し使いたちも、かぐや姫の気立てが〔④　　〕で、〔⑤　　〕ことなどを思い、湯水も喉を通らないほど悲しんでいる。

重要語句 次の語句の意味を答えなさい。

(1) つつむ

(2) あまた

(3) 年ごろ

重要文法 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 傍線部の助詞の種類と意味を答えなさい。意味は、後ろの語群から適当なものをそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

	種類	意味
(1) 八月十五日ばかりの月（四八・14）		
(2) これを見て（四八・15）		
(3) 思ひしかども（四九・1）		
(4) かのもとの国より（四九・5）		
(5) まさに許さむや。（四九・9）		
(6) 悲しくのみある。（四九・14）		
(7) おのが心ならず（四九・14）		

ア 動作の起点　イ 逆接の確定条件　ウ およその程度・範囲
エ 動作の対象　オ 連体修飾格　カ 限定　キ 反語

2 傍線部の助動詞「る」の意味をそれぞれ答えなさい。

(1) 使はるる人々（五〇・1）

(2) 湯水飲まれず（五〇・2〜3）

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 「八月十五日」（四八・14）の月のことを何というか答えなさい。

2 「さのみやはとて、うち出で侍りぬるぞ。」（四九・2〜3）とあるが、このときのかぐや姫の気持ちがそのまま動作になって表れている部分はどれか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　人目も今はつつみ給はず泣き給ふ。（四八・14〜15）
イ　さきざきも申さむと思ひしかども（四九・1）
ウ　必ず心惑はし給はむものぞと思ひて（四九・1〜2）
エ　今まで過ごし侍りつるなり。（四九・2）

3 傍線部の主語は誰か。それぞれ本文から抜き出しなさい。

(1) うち出で侍りぬるぞ。（四九・2〜3）
(2) おぼし嘆かむ（四九・6）
(3) 思ひ嘆き侍るなり。（四九・7）
(4) 見慣らひて（五〇・2）

4 「我こそ死なめ。」（四九・10）について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 現代語訳しなさい。

(2) この言葉から読み取れる翁の心情として、ふさわしいものはどれか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　かぐや姫の命と引き換えに自分が死にたい。
イ　かぐや姫の裏切りが死ぬほど悔しい。
ウ　かぐや姫が連れ戻されることは死にたいほど悲しい。
エ　かぐや姫の行く末を見届けてから死にたい。

5 「月の都」（四九・3）が地上の人間界と違う世界であることが最もうかがわれる一文を、本文から**五十字以内**（句読点を含む）で探し、**最初と最後の五字**を抜き出しなさい。

〜

6 「いみじからむ心地もせず」（四九・14）について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 「いみじからむ心地」とは、どのような気持ちか答えなさい。

(2) 次の文は、かぐや姫が「いみじからむ心地もせず」と述べた理由を説明したものである。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

楽しく過ごし［A］［B］地上の人間界から［C］ことが［D］から。